



PCO・フリーマインド通心

ベストコントロール事業を通じて
あなた様との良縁を育み、御商売繁盛のお手伝い 平成25年・10月発行

vol.28



「♥♥♥お・も・て・な・し♥♥♥」

こんにちは！害虫駆除研究家のフリーマインドこと白神久志です。

あなた様は、今年の9月をどう過ごされましたか。

最大の話題は、何と言っても**2020年の五輪開催地が東京に決定した**ことに尽きると思います。

ちょっと難しい話になりますが、ハーバード大学の歴史学者故サミュエル・ハンチントン博士は世界を八つの文明に分け、唯一単独の文明を有している国家として、日本を世界八大文明の分類の一つに挙げています。

純粋な独自の文明を有するこの日本で、オリンピックが開催されることは、世界に対して日本人が、自然を尊び、命を尊び、お互いが尊重し合う国家であることを知らしめ、世界を平和に導く道標となれる最大のチャンスです。

美しいキャスター滝クリが「お・も・て・な・し」と敢えて言わなくとも、たとえば伝統の茶道ひとつ取り上げても、その『四規七則』は日本人の心の中に備わっているはずです。

四規とは『和敬清寂』。仲良くし、敬いあい、精神も肉体も清らかで、どんな時でも動じない在り様を示しています。

また七則とは、『茶は服のよきように点て、炭は湯の沸くように置き、冬は暖かく夏は涼しく、花は野にあるように入れ、刻限は早めに、降らずとも雨具の用意、相容に心せよ。』のように、心を込めて「おもてなし」する日本人の心意気が表現されています。

私もオリンピックめざして、心の自己研鑽に励みたいものです。



ケーコ先生とワンコのほのぼの日記

scene 27

「倍返したあ〜」の巻

9月16日は敬老の日と言うことで、新聞には高齢化の文字が並びました。今さら判ったことでもないのに、国の機関が発表した数値に評論家が解説を加え、「オイ！歳を取るのは怖いぞ！」と煽っているような感じです。

わが家の愛犬ブツ子は、知ってか知らずか、その日の老健施設のチラシの上でちぎれんばかりに尻尾を振って、「アタシはまだ老犬（老健）ではありません！」と主張しているかのような振る舞いです。



さてその横で、新聞をめくる愛妻ケーコ先生。（読んではいない！見ているだけだ！）

ケーコ先生「あなた！これからの高齢化社会では『教育と教養』が大切だそうよ！」

ワタクシ「んじゃあ大学院にでも通うか！」

ケーコ先生「違うわ！教育とは、『今日行く』。朝起きて、今日どこかに行く予定があること！教養とは、同じく『今日用事』があることですよ！あなたの20年後？が私は心配だよ！」

ワタクシ「ケーコ先生！今のセリフ、倍返しにしてあげるわ！僕の老後はあなたの“忠犬八千公”にさせられて東奔西走し、きっと忙しいで！」

ケーコ先生「でもそのおかげで、あ・な・た！若く過ごせるでしょう。今晩は感謝の気持ちを込めて、お・も・て・な・ししてあげよーか！」

ワタクシ「じえじええ〜\ (>◇<) /」



有限会社 白神環境衛生消毒

白神文化財虫菌害研究所・白神シロアリ技術研究所

〒700-0845 岡山市南区浜野2丁目1-35 オフィスZ内

TEL 086-264-1271 / FAX 086-264-1263

http://www.shiraga.co.jp

白神環境衛生消毒

検索

ブログ随時更新中!



※バックナンバーが必要な方はお申し出下さい!

フリーマインド通心をご愛読いただき誠にありがとうございます。このニュースレターは、弊社で防除施工・管理施工させていただいているあなた様、また私共とご縁をいただいているあなた様にお届けしています。



?	害	虫	管	理	?
!	な	る	ほ	ど	!
!	が	っ	て	ん	!

『ネズミは駆除』の巻



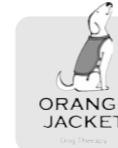
天井のフンとネズミに噛まれた電線

毎年**稲刈りの時期**になると、ネズミの駆除の依頼が、一気に増加します。これは田んぼに潜んでいたネズミが、稲刈り作業の関係で追い出された結果、民家に侵入する図式が繰り返されるからです。

今回はネズミの駆除について、現在の駆除方法等を交えながらお話しいたします。

ネズミとの戦いは弥生時代から

現在、私たち専門業者が駆除対象にしている主たるネズミは、①クマネズミ、②ドブネズミ、③ハツカネズミの3種です。

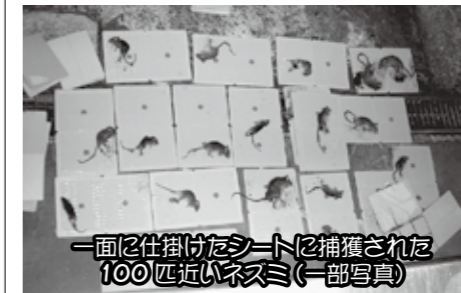


(有)白神環境衛生消毒は、特定非営利活動法人 介護高齢者ドッグセラピー普及協会の活動を支援いたしております。

現代日本で、最も被害を発生させているネズミは①クマネズミです。クマネズミは、特徴ある長い尻尾が目印です。この尻尾を電線やLANケーブルなどに巻きつけて、ビルとビルの間を綱渡りするように移動しています。

ネズミとの戦いは、日本人が農耕を始めた数千年前から続いており、よくご存じの登呂遺跡の高床式倉庫などの「ネズミ返し」は大昔の日本人もネズミに悩まされていたことが証明できる遺物です。

主な駆除方法



一面に仕掛けたシートに捕獲された100匹近いネズミ(一部写真)

粘着シートに捕獲して駆除する方法と、毒餌を喫食させて駆除する方法が主たる施工です。粘着シートでの駆除は、捕獲されたネズミが見えないところで腐敗などすると、悪臭などの影響で大変なことになるので、調査以外は、もっぱら毒餌による駆除を勧めています。この写真は毒餌の設置前と設置後の比較ですが、喫食していることが一目でわかる良い例です。



設置時点(毒餌)



10日後空っぽの毒餌

出ないからと油断しない



毒餌よりもワラワラアツラツ

特に**飲食店**では、ネズミの出現に伴う**サルモネラ菌による食中毒の心配**や、その目撃による**常連客の減少**による売り上げへの影響が深刻な問題になります。日頃から注意して、侵入の信号を見落とさず、**早目に専門業者に依頼いただく**ことをお勧めいたします。

シロアリ駆除のご相談は
086-264-1271へ!